

交通事故発生状況（令和7年12月末現在）

1 交通事故発生状況

(1) 全国及び管区内各県の死者数

区分	令和7年	令和6年	増減数	増減率
全国	2,547	2,663	- 116	- 4.4%
管区計	309	332	- 23	- 6.9%
富山	30	22	+ 8	+ 36.4%
石川	32	30	+ 2	+ 6.7%
福井	21	23	- 2	- 8.7%
岐阜	55	70	- 15	- 21.4%
愛知	112	141	- 29	- 20.6%
三重	59	46	+ 13	+ 28.3%

(2) 県下の交通事故発生状況

区分	人身件数	死者数	負傷者数	
			重傷者数	軽傷者数
令和7年	2,856	55	3,482	427
令和6年	2,835	70	3,483	353
増減数	+ 21	- 15	- 1	+ 74
増減率	+ 0.7%	- 21.4%	- 0.0%	+ 21.0%

(3) 月別死者数

区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
令和7年	4	1	7	3	3	6	5	8	3	3	6	6
令和6年	6	6	3	1	4	8	3	6	6	5	10	12
増減数	- 2	- 5	+ 4	+ 2	- 1	- 2	+ 2	+ 2	- 3	- 2	- 4	- 6

(4) ブロック別死者数

区分	岐阜	西濃	中濃	東濃	飛驒	高速隊
令和7年	20	8	10	12	3	2
令和6年	21	12	11	12	7	7
増減数	- 1	- 4	- 1	0	- 4	- 5

(5) 年齢層別死者数

区分	こども	高校生	若年者	25~59歳	60~64歳	高齢者
令和7年	0	2	2	7	2	42
令和6年	1	0	0	21	5	43
増減数	- 1	+ 2	+ 2	- 14	- 3	- 1

2 死亡事故(55件、55人)の特徴

今年の死亡事故は55件55人発生し、前年より12件15人減少した。

岐阜県の全国順位(ワースト)は、死者数15位、増減数42位、増減率39位。

また、人口10万人当たりの死者数は2.87人、ワースト17位。(全国平均:2.06人)

※ 人口10万人当たりの死者数は、R6.10.1現在の推計人口により算出

(1) 高齢者の死者が約8割

高齢者の死者が42人で、前年より1人減少し、全死者(55人)の76.4%を占め、このうち歩行者の死者が14人、自動車乗車中の死者が14人と多く、それぞれ全高齢死者(42人)の33.3%を占めた。また、75歳以上の高齢者が27人で、全高齢死者の64.3%を占めた。

(2) 高齢運転者による死亡事故が約4割

高齢運転者による事故が19件で、前年より2件増加し、全運転者事故(49件)の38.8%を占め、このうち昼間の事故が16件、単独事故が11件と多かった。

また、75歳以上の高齢運転者による事故が9件で、全高齢運転者事故(19件)の47.4%を占めた。

(3) 飲酒関係事故が増加

飲酒運転での事故が5件で、前年より2件増加し、全事故(55件)の9.1%を占めた。

《 その他 》

○ 昼間での事故が36件(全事故の65.5%)で、前年比+5件

○ 自転車乗用中の死者が9人(全死者の16.4%)で、前年比+2人

○ 若年運転者事故が4件(全運転者事故の8.2%)で、前年比±0件

《 前年より特に減少した死亡事故 》

○ 夜間での事故が19件で、前年比-17件

17時台の発生が0件で、前年比-10件

○ 歩行者の死者が16人で、前年比-9人

特に、夜間の道路横断中歩行者の死者が3人で、前年比-14人

○ 自動車乗用中の死者16人で、前年比-10人 うちシートベルト非着用が5人で、前年比-7人

○ カーブでの事故が10件で、前年比-12件

○ 交差点での事故が20件で、前年比-10件

注:若年は24歳以下、高齢は65歳以上をいう。夜間は日没から日の出までをいう。

運転者事故は原付以上運転者が第1当事者(主たる原因)となった事故をいう。

飲酒関係事故は原付以上の第1当事者が飲酒状態による事故で検知不能を含む。

3 「30日死者」(24時間経過し30日以内に死亡した者)

30日死者は4人で、前年より5人減少した。

※ 12月末で死亡を確認したもの。

【過去10年間の死者数推移】

年別	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
死者数	106	90	75	91	84	43	61	75	50	70	55
指數	100	85	71	86	79	41	58	71	47	66	52